

# ヤマトシステム開発

## 注目集める「社内便トレースサービス」

社内便物流にも宅急便クオリティを。ヤマトグループのヤマトシステム開発(東京都江東区南砂2-5-15)が提供する「社内便トレースサービス」が大きな注目を集めている。本社と営業所、本社と支社などを日々行き交う重要書類の授受確認や配送状況チェックなどが容易にできる上、紛失・誤配・遅配の防止と早期発見に威力を発揮するからだ。生保業界大手の第一生命は同社のサービスを活用し、成果を上げている。

コヤマトの「荷物お問い合わせシステム」のノウハウを活用。封筒一通単位の高セキュリティな授受管理をリースナブルな料金体系で実現すると同時に、Webでの確認が簡単にできる「ASP」で提供する。

eb上での未着照会機能を充実させる方法を採用している。

②「重要書類専用資材の提供」では、社内便トレースサービスに特化した専用資材(書類の種別や行き先で色分けした封筒や、耐久性や防水性に優れた専用バッグ)を提供する。

③「メール室授受管理システム」では、ICタグ、バーコードを利用して固体管理し、メール室で誤り分けを防止する。

### ヤマトの専門性を評価

「新しいシステム導入で、配送状況が共有化され、未着書類の発見などが容易になりました」と第一生命の鳥海氏は成果を強調する。さらに「システムはどこからでもアクセスできるのは、当社のような大きな組織では特に有効です」とASPサービスを高く評価する。

事務の2層化を推進する第一生命では、今年9月中旬から支社を経由せず、支社と本社間で申込書類をダイレクトで送付する取り組みを開始。東京と大阪の25支社の傘下にある約400の支社で、「社内便トレースサービス」を順次導入している。「今後も同サービスの対象範囲を拡大していきたい」と鳥海氏は期待を込めて言う。

第一生命では本社・支社・支店合わせて約1750機関で、加入申込書や保険金請求書などの顧客情報をはじめとした書類が、1日に合計4000回行き交う。同社事務企画部事務基礎課の鳥海雅之課長補佐は「社内での受領票の受け取りや管理台帳への記載など、事務負担がかかっていた」と語る。

生命の倉庫物流に対する倉庫システムの実績②荷物トレースの高い技術と実績③ヤマトグループの物流における専門性があった。

## 重要書類の配送状況チェックが容易に

### 第一生命が活用し成果あげる

#### 社内物流の課題を解決

一般的な社内物流の課題は3つある。1つ目は、期日指定の重要社内便は「送りまし

た」「届きました」など電

話連絡が必要で作業負担が大きい。2つ

目は、社内便の所在確認が困難で、誤配

・遅配などの

際に検知が遅れる上、責任

の所在が不明

これらの課題をスッキリと解決するのが、①社内便追跡ASPサービス②重要書類専用資材の提供③メール室授受管理システムで構成される「社内便トレースサービス」だ。

①「社内便追跡ASPサービス」では、クロネ

コヤマトの「荷物お問い合わせシステム」のノウハウを活用。封筒一通単位の高セキュリティな授受管理をリースナブルな料金体系で実現すると同時に、Webでの確認が簡単にできる「ASP」で提供する。



水に強く、破れにくい特殊素材で作成された専用資材



「サービス導入で事務負担が軽減しました」と語る第一生命の鳥海氏